

乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (インフルエンザ定点、小児科定点、眼科定点)

第 46 週 平成30年11月12日 ～ 平成30年11月18日

今週のコメント

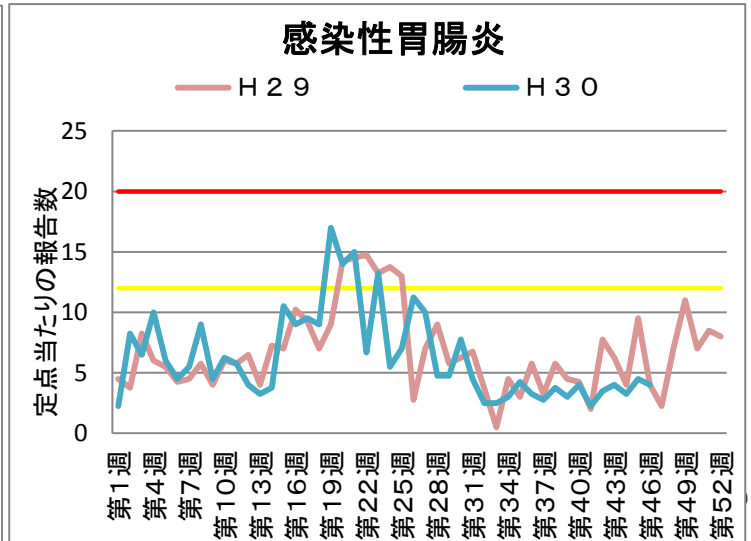
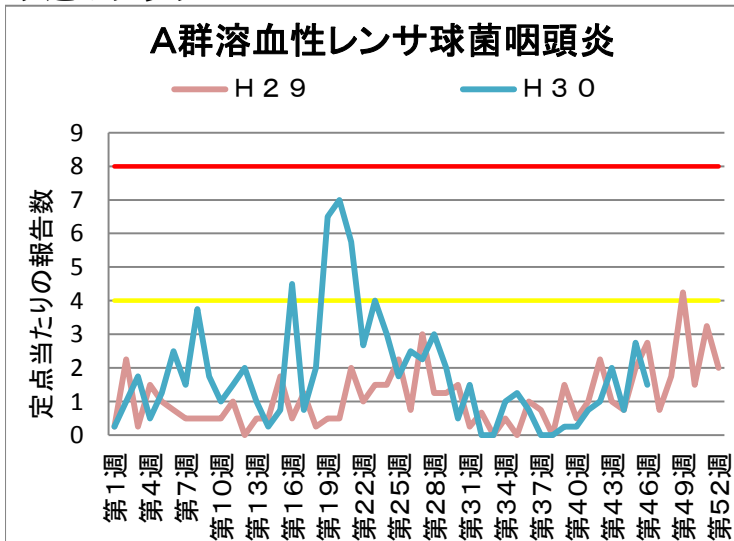
○ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数がやや増加傾向にあります。この疾患は主に飛沫感染し、1～3日の潜伏期間の後に咽頭痛・発熱で発症し、後に発疹がみられます。診断された場合は医師の指示通り抗生物質を内服しましょう。

○ 感染性胃腸炎の報告数もやや増加傾向です。この時期の主な病原体はノロウイルスです。貝類特にカキは加熱してから食べ、感染者や介助者は嘔吐や下痢の後の手洗いを十分行ってください。

○ 伝染性紅斑と咽頭結膜熱の報告数は低下しました。

○ 厚労省からの11月16日付の情報では、引き続き風しん患者が増加しています。患者の多くは30～50代の男性です。妊婦、妊娠希望女性及び家族の方は抗体検査を受け、妊婦以外は必要時にワクチン接種を受けてください。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	-	伝染性紅斑	0.25
RSウイルス感染症	-	突発性発しん	0.5
咽頭結膜熱	0.25	ヘルパンギーナ	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.5	流行性耳下腺炎	0.25
感染性胃腸炎	4	急性出血性結膜炎	-
水痘	0.75	流行性角結膜炎	-
手足口病	1		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点 : 7箇所

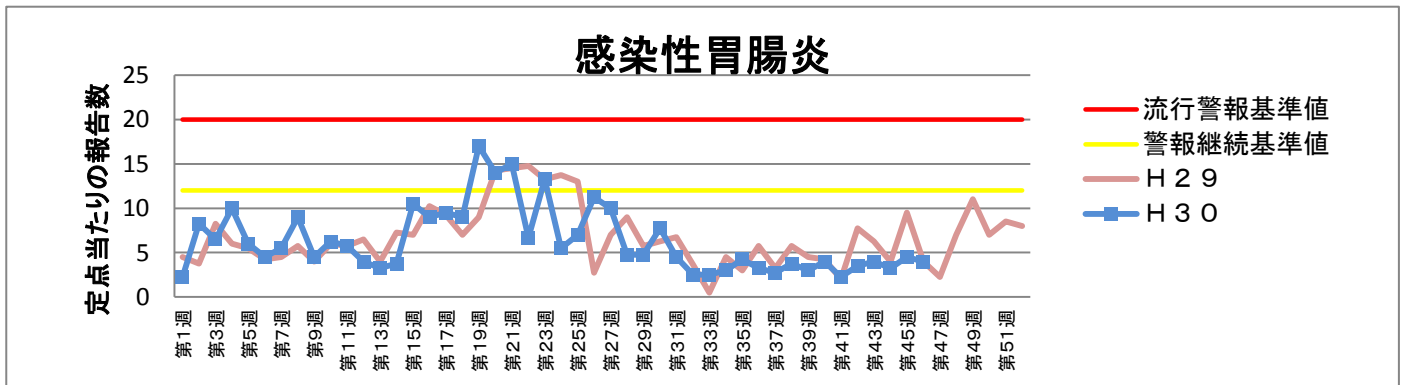
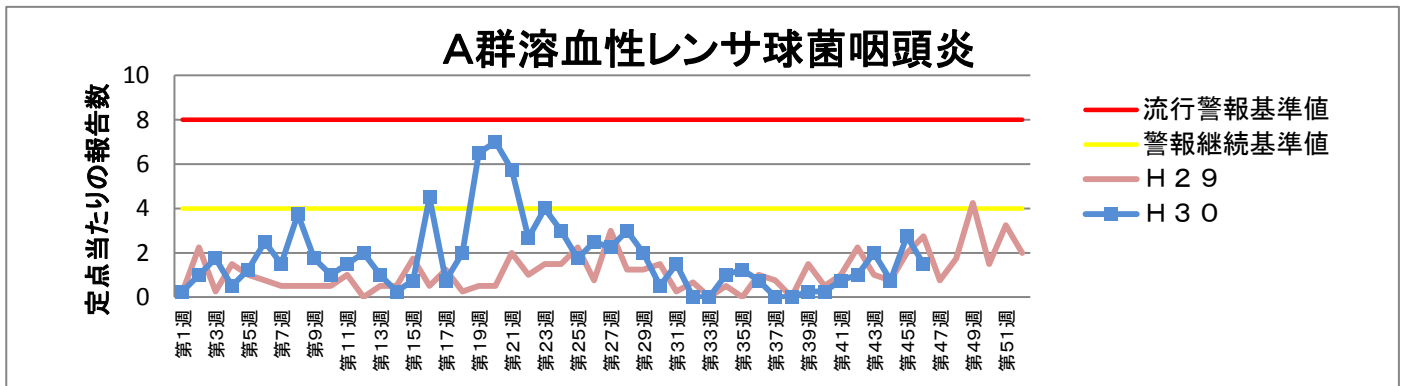
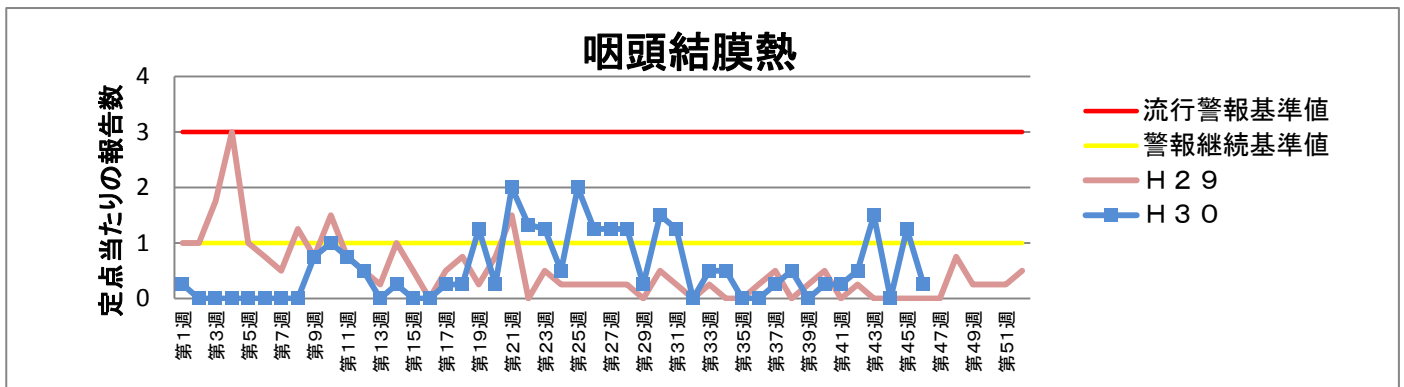
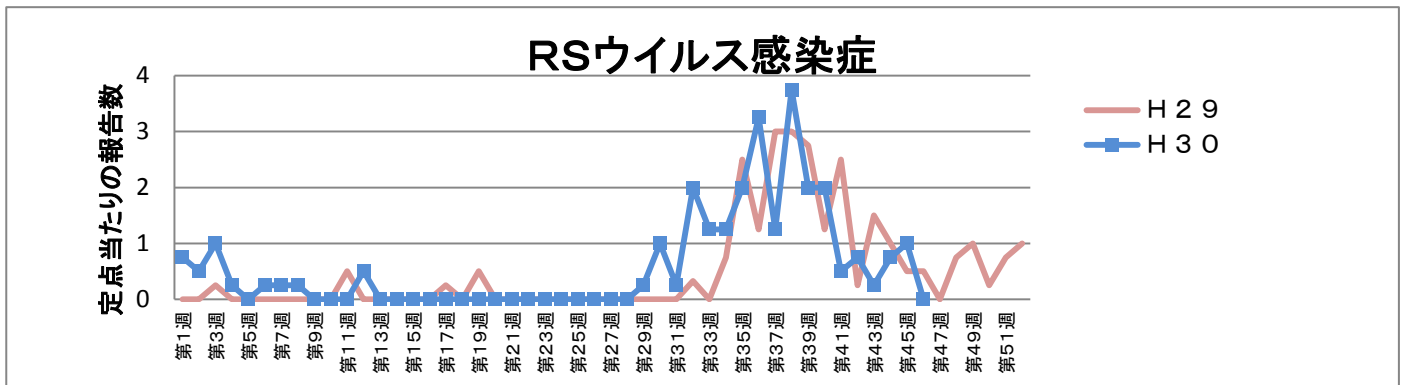
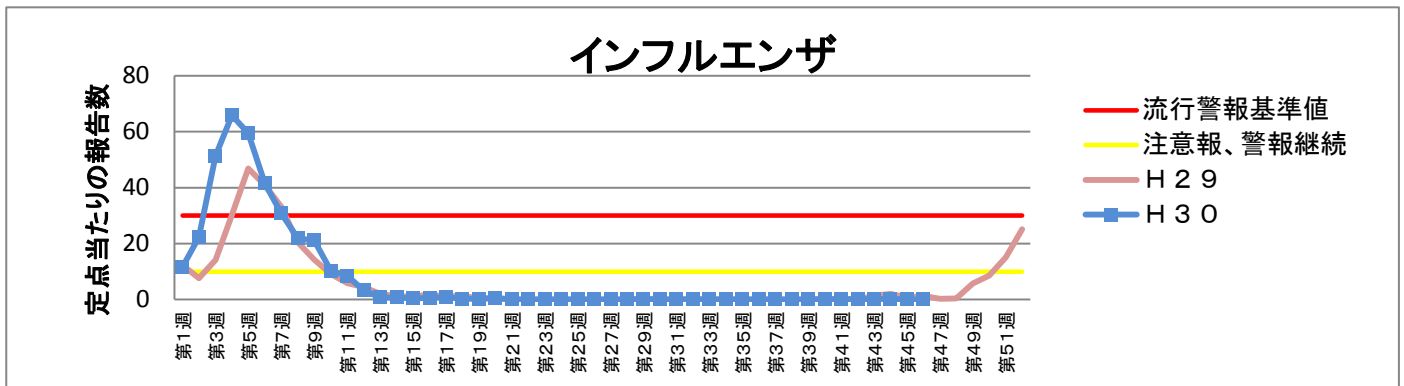
小児科定点 (インフルエンザ以外の疾病) : 4箇所

眼科定点 : 1箇所

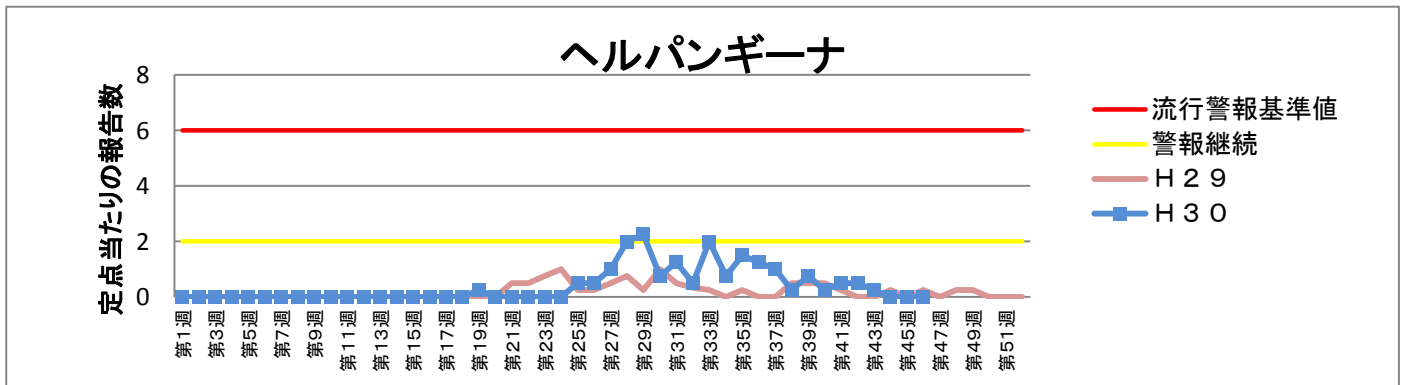
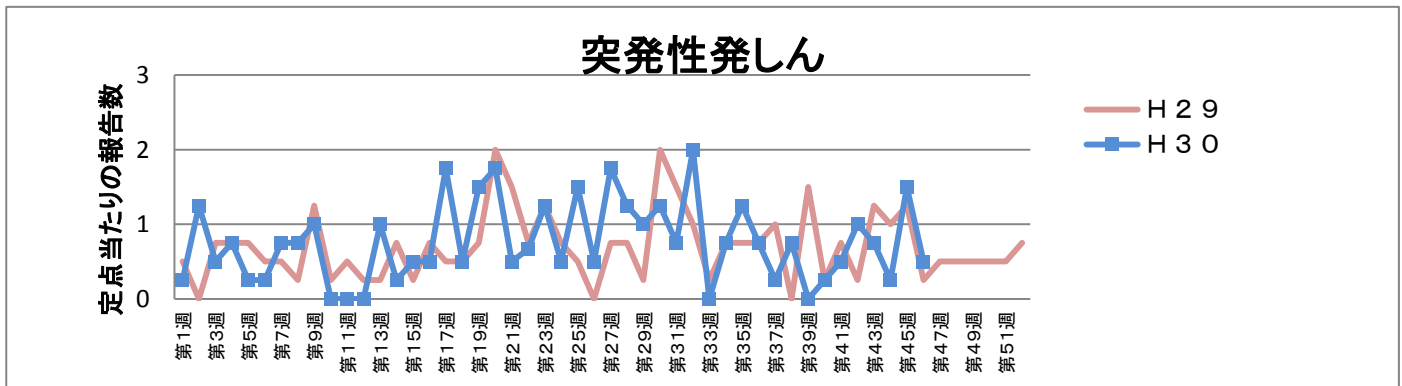
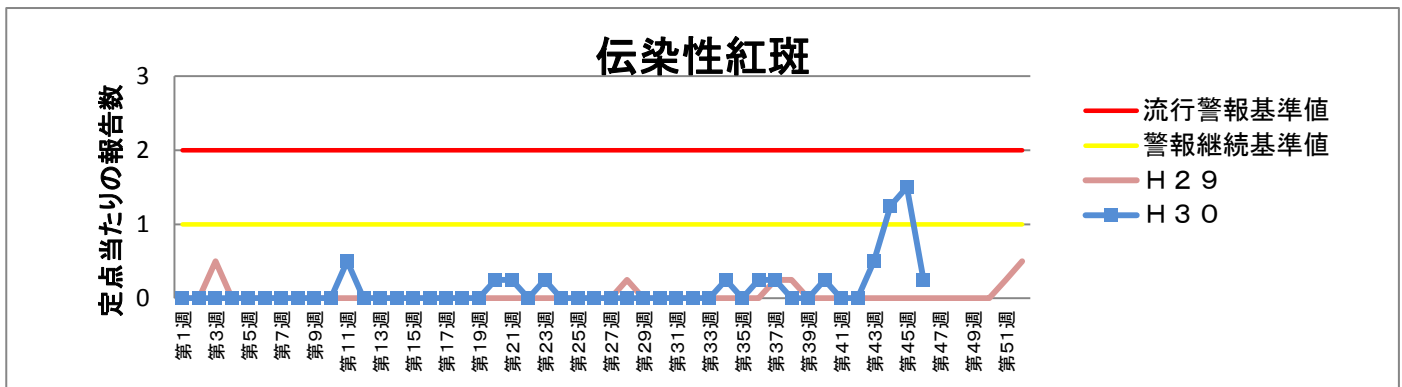
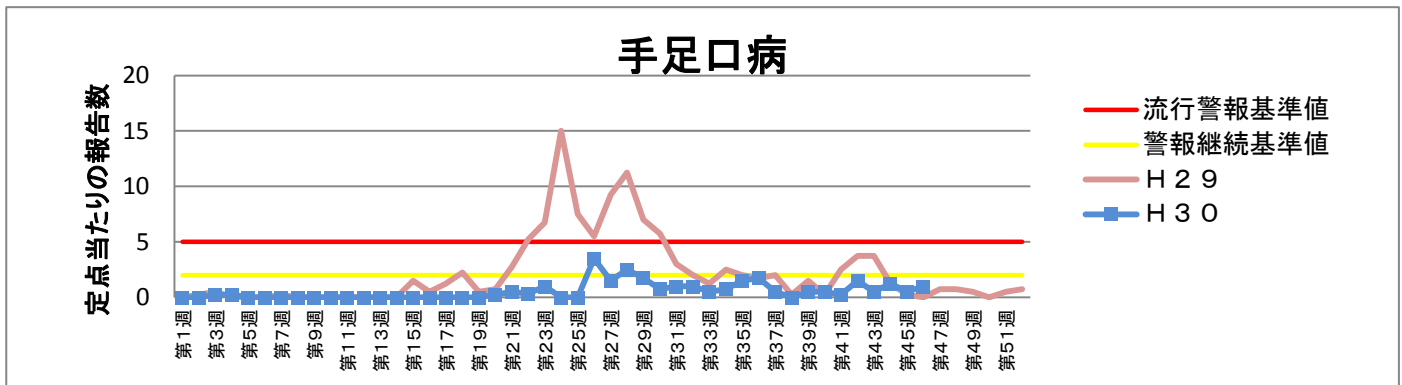
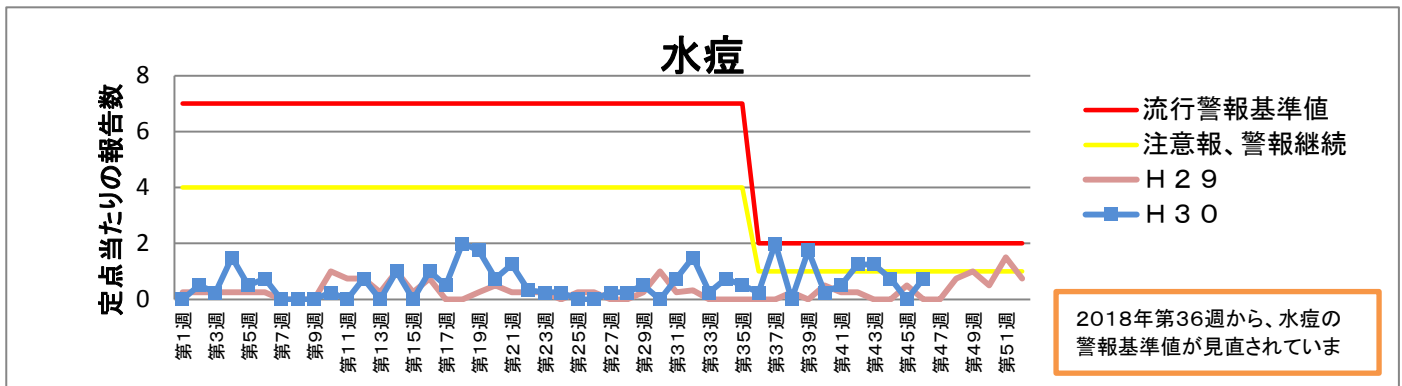
参考資料等

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移



乙訓保健所管内定点当たり報告数推移

